

今週のビルマのニュース
2010年4月2日【1013号】

総選挙、NLDは全会一致で不参加を決定

・民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が率いる国民民主連盟（NLD）は29日、中央委員会を開き、軍政が発表した選挙関連法が不公平であることを理由に、政党としての登録手続きを行わないことを全会一致で決めた（30日NLD声明）。登録しなければ総選挙には参加できない（「背景」参照）。

【背景】軍政が発表した総選挙に関連する法律により、NLDはアウンサンスーチー氏など有罪判決を受けた党員を除名し、5月7日までに登録手続きを行わなければ政党として存続が認められない。

岡田外相「選挙関連法はきわめて遺憾」

・岡田外相は3月26日の記者会見で、選挙関連法の規定によりアウンサンスーチー氏が立候補できないことについて、「我が国が期待している、すべての関係者が参加できる開かれた選挙とは明らかに異なる。極めて遺憾だ」と述べた。さらに、「こうした状況で選挙を実施しても国際社会に認められない。すべての関係者に開かれた公正な選挙となるように是非とも再考してもらいたい」とフランミン駐日大使に申し入れたことを明らかにした（26日会見記録）。

G8外相会談および日米外相会談

・3月29～30日に行われたG8外相会談で、G8外相はビルマの民主化問題について議論し、総選挙が透明で完全に開かれ、自由で公正であることを求めた。またアウンサンスーチー氏の拘束が続けば総選挙は信用性を失うとし、氏を含めたすべての政治囚を解放するよう軍政に呼びかけた（30日議長声明）。岡田外相は3月29日、クリントン米国务長官と会談し、ビルマ情勢についてASEAN諸国と連携しつつ、日米で連携して対処していくことで一致した（30日会談記録より）。

岡田外相「現状で本格的経済支援はできない」

・岡田外相は3月26日、「[昨年11月に可能性が示された]日本政府による本格的な経済支援は、我々が期待している全ての関係者が参加できる開かれた選挙が実現した場合の話であり、今の状況ではそういったことにはならない」と、フランミン駐日大使に伝えたことを明らかにした（26日会見記録）。

【背景】昨年11月7日に行われた日緬首脳会談で鳩山首相は「総選挙が我々の期待する方向で行われれば、日本は様々な支援を強めていくことができるようになる」と述べた。

ば、日本は様々な支援を強めていくことができるようになる」と述べた。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

3月31日 結核対策薬品機材整備計画に対し
3億800万円を限度とする無償資金協力

国連人権理事会、ビルマの人権状況を非難

・国連人権理事会は3月26日、ビルマで組織的な人権侵害が続いていることを強く非難する決議を採択した。決議は、ビルマ東部などで民間人や、特定の民族の個人に対する攻撃や人権侵害を止めるため緊急に措置をとるよう軍政に求める（決議本文）。

イベント情報

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会
「難民流出の現場から」ベネディクト・ロジャーズ
(大阪ボランティアセンター、2日 18時半～)

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長
対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と
対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピ
ール行動（国連大学前、5～9日 15～16時）

・ビルマのお正月「ダジャン水かけ祭」主催：ビル
マ民主化同盟（井の頭恩賜公園、11日 10時半～）

・渋谷敦志写真展「明日があるから 国境に生きる
ビルマ難民は今」（コニカミノルタプラザ、3～14
日 10時半～19時。最終日は15時まで）。ギャラ
リートーク「国境の現場から—フォトジャーナリズム
の力を信じて」野中章弘×渋谷敦志（7日 18時～）

★先着 40名。

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165